

労働紛争の解決の促進に関する法律（平成13年10月1日施行）

上記の不当労働行為審査及びあつせん、調停及び仲裁は、集団的労働紛争であり、労働委員会はそれらの処理が本来の対象であるが、それに加えて平成14年から③の「個別的労働紛争」が対象に加わった。これは、私が労働委員会事務局から異動してから加えられたので、この事案について経験はしていません。この背景には集団的労働紛争の減少と外形上、集団的労働紛争であるが、内容は個別的労働紛争である事案の増加、さらに労働組合の組織率の低下等があるといわれています。

（2）民事調停委員・・・10年間

私は民事調停委員を委嘱されてからの10年間に数回の民事調停事案に係りました。労働委員会事務局職員を長く経験した者として調停を実施するに当たり、感じたことを記したいと考えます。

民事調停委員は、非常勤の裁判所職員で、民事調停は、裁判官1人と民事調停委員2人以上（普通は2人）からなる調停委員会が当事者の言い分を聞き、必要があれば事実を調査した上、紛争の実情に応じて当事者を説得し、その主張を互いに歩み寄らせて合意に導き、条理にかなない実情に即した解決を図ろう

とする手続きです（民事調停法第1条参照）。おおざっぱに言って、労働委員会の調整事件や不当労働行為事件の和解と枠組みはほぼ同様ではないかと思えます。

私は、貸金支払いや家屋明け渡しなど通常の民事調停も経験しましたが、経験したかなりの部分は、「特定債務等の調整の促進のための特定調停に関する法律」（以下「特定調停法」という）による特定調停案件でした。詳しくは、特定調停法を見て頂くとして、複

数のサラ金業者からの貸金が返済出来ない等、多重債務者が支払い不能に陥るおそれのあるもので、その者の経済的再生に資するための特定調停事案です。多重債務者が大きな社会問題として表れてきた時期でした。

特定調停事案は、事実上、民事調停委員2名で進行し、必要があれば調停委員会を構成する裁判官と協議したりし、最終的には裁判官も含め評議して解決に至ります。

したがって、債務額の確定をするためにはサラ金業者から提出された債務弁済表を利息制限法に合致した計算でしているかなど民事調停委員が事前に核算しておく必要があります。

ところで、民事調停委員の立場は、労働委員会の委員と似ている所があります。つまり、労働委員会の委員は、非常勤で、公正・公平

な立場で、月に数回労働委員会に向いてあつせん事件や不当労働行為事件の処理をする点です。

つまり、労働委員会事務局職員が、委員の補佐をして事案に関する資料を渡したり、事案の説明をしていますし、貸金支払い問題ですと、貸金計算をして資料を渡したりします。翻って民事調停を見てみますと、書記官から申立書の写しや相手方から提出された書面は得ることがありますが、それ以外は特にありません。

したがって事案の内容の理解や前述したようにサラ金業者から提出される債務弁済表の検算等は事実上、民事調停委員が実施しています。これがなかなか大変な作業でした。

この違いはどういうところから出ているのでしょうか。民事訴訟事件のばあい、常勤職員たる裁判官がいて、訴状や書面を読み、必要であれば自ら判例や論説を調べるでしょうから、書記官は、訴状の受理や相手方への連絡等が主たる仕事で、裁判官に事案を説明するなどの役割はないのであろうと思われま

（3）司法委員・・・7年間

司法委員会制度は、簡易裁判所の民事訴訟手続に関与することによって、審理に国民の健全な良識を反映し、より社会常識にかなう

裁判を実現するために設けられた制度です。司法委員制度は調停手続に参与する調停委員と同様、国民の司法参加の一形態と位置付けられています。

司法委員の職務は、簡易裁判所の民事訴訟手続において審理に立ち会って、裁判官の求めに応じて意見を述べることや裁判官が話し合いによる解決（和解）を試みるのに際して、その補助をすること（和解の補助）（民事訴訟法第279条1項）です。

私の場合は、和解の補助が多くありました。和解に入る前までは法廷で裁判官の横に座り、事案の推移を見ながら、和解に適していると裁判官が判断すれば、裁判官が司法委員に指示し、司法委員は、別室で原告、被告の言い分を聞いて和解が成立するか否かを見極め、成立する見込みとなればその内容を裁判官に報告し、その結果、「訴訟上の和解」として、訴訟が終結するわけです。もちろんそういうケースばかりではなく、和解が成立しそうな場合は、法廷へ戻り、また、通常の訴訟として進められる場合もあります。

「司法委員」は法曹の人とはともかく一般的には知られていないように思います。私も当初は知りませんでした。ましてや訴訟時に裁判官の横に座ると聞いてびっくりしたものです。

四 おわりに

以上、京都府職員として、労働委員会事務局職員約17年間、京都地方・簡易裁判所の民事調停委員10年間、司法委員として7年間、延べ34年間、ADRに従事したことになりました。労働委員会事務局の場合、その内容は労働紛争に限定されますが、民事調停委員や司法委員は、法的な民事の争い事は多種多様であり、その内容を調べたりして大変貴重な経験をしたものと思っています。



北野天満宮の絵馬

師への想いを布教にかえて

民事調停委員や司法委員は多種多様な分野の専門家が近く、その人達と接することも良い経験になったものと思っています。最後になりましたが、民事調停委員に委嘱されるに際し、裁判所に推薦していただいた一人は山城高校同期の友人であり、もう一人は大学の同期の友人でした。ここに厚く感謝の意を表したいと思います。



山城15回（新徳寺住職）山田 一 道

私は長い間徒弟生活をしなが、師の心が解らず安易に過ごしてしまつたことが後で悔やまれ、残念で仕方ありませんでした。専門道場に掛塔したとき同期の雲水を見て、師は弟子たちに継憎としての素養をほとんど身につけておいてくれたことが解り、本当に有難く思いました。師とは、昭和六十年八月十二

日蓮化の金閣鹿苑寺住職の村上慈海長老のことです。(写真左) 昭和三十一年に鹿苑寺(金閣寺)徒弟として入門した私は、その後十一年間(山城高校在学中を含む)の教育を同長老より受けた後、鎌倉円覚寺を経て昭和四十九年、法伯の寺である新徳寺住職を拝命いたしました。



村上慈海師 山田一暁・画

師は生前多くの弟子を育てましたが、昭和二十五年七月には自分の弟子により、金閣を放火炎上させられました。世間の非難を一身に浴び、三島由紀夫や水上勉によって小説や映画にまでされました。しかし、国や府の援助は得ましたものの、自らも金閣復興の托鉢による勧進を続け、昭和三十年には見事に復興いたしました。その金閣復興後に入門した私は、世界的にも有名な寺の住職の、あまり

にも質素な生活には随分驚きました。また小僧生活も、世間の人たちが思われるほど甘いものではありませんでした。師はまた、毎日寝る敷布団は非常に薄くて、真中には綿が無くなって毛布で通化までこの煎餅布団を取り替えるようとはしませんでした。

入門以来いつも聞かされてきた言葉には、自分が今ここにいられるのは、足利義満公のお蔭、圓山様のお蔭、多くの拝観に来て頂いた人々のお蔭だ。立派な僧侶になつて世間にお返しをするようにと、たえず三世十方力のお蔭を説いて聞かされました。

また来客へのご馳走は、夏はほとんど冷奴、冬は湯豆腐と決まっていました。金閣寺へ行けば、どんなご馳走が食べられるかを楽しみにしていた来客には、さぞ拍子抜けしたことでしょう。着るものも自分を飾らず、環路(ようろく)の下がる白衣でも一向に気にせず不動心そのものでした。

その師が私の新徳寺入寺の時、鹿苑寺山門まで門送の途に「すまんなあ、時間があつたら好きなことをしたら良い」と言ってくれたことです。私が中学の頃からたまに絵を描いていたことを、師は知っていたからです。昭和五十五年に当時先住職を退つた後、師の言葉が思い出され、布教に活かすために絵を描

くことを決意しました。担用も多く、なかなか描けませんが、描くときは、達磨大師は「空(クウ)」を、観世音菩薩は「慈眼(シケン)」を心懸け、とくに「眼」には心血を注いでいます。眼は心の窓、言葉以前の布教の原点であるからです。 合掌

新徳寺(臨済宗水源地)



白隠慧鶴禅師の高弟・東嶺円慈禅師と親交の深かった水源地百十三世天蔵文能和尚を開山とする(元文四年)。

幕末の文久三年、山岡鉄太郎が江戸より清

河八郎、芹沢鴨、近藤勇等以本名を率いて入路し、最初に当寺の本堂に集結。その晩、清河八郎は須弥壇を背に尊王攘夷の大演説をぶちあげた。大激論の末、浪士群は二分して東下組は去る。残留組の芹沢鴨、近藤勇等が新撰組を結成し、前川屋敷や八木屋敷に移るまでの間、当寺は彼らの起居するところとなった。

京都市中京区壬生賀陽御所町四八

『漢語一会』 三中38回・

一海知義先生を思う

山城18回 前田 幸一

1. 2015年11月15日逝去 86歳。略歴「川上肇」研究、中国文学者、毎日出版文化賞特別賞受賞、『一海知義著作集』全1巻、漢詩・語の教育に励まれた。吉川幸次郎京大名誉教授【中国文学者、芸術院会員、文化功労者】に、高橋和巳氏（思想的問題から京大助教授を退任・孤立無援の思想などの著書多し39歳逝去）などと学ぶ。

II. 多分、私は山城生の中で、一海先生に教

えを頂いた稀な人間の一人でしょう。学校へ入学、教養部で第二語学・中国語を選択、併せて指導教官をお願いしたのがご縁でした。当時（※）、中国語を学ぼうとする人は極めて少なく、語学クラス45の中であた1クラスのみでした。つまり医・工以外の7学部生の混交状態で、これはこれで大変良い思い出となっています。山城同窓会誌「寄付」覧で四、五年前に「一海知義」のお名前を拝見し、へー初めて先輩だと知りました。奇遇ですね。（※）日中国交正常化以前の話です。

III. 中国語の授業初日には、一人一人に中国語選択の理由を問われ、次に、「マオ ツー トン ワンソエ ワンワンソエ」これ判る人いますか？ 突然の質問となつて、皆キョトンとするだけでした。答は「毛沢東 萬歳 萬々歳」と教えられ、えらい所にきたものだ、皆一瞬間を見合いました。中国の国情については「整風」（※）運動が始まっている事を教えて頂いた。私達には、一体何がじまるのやらと心配もしました。（※）後の文化大革命の萌芽。

授業の初日は、狐につままれた様に、何が何だか判らぬままに終わりました。翌日の授業からこの選択が大変な重荷であることに気が

づかされ、いやーまいった。

IV. 中国語は難しい・時間がかかる・おまけに辞書はドイツ語の三倍の価格。皆大変。三つの課題が押し寄せて参りました。

A. 発音に四声（しせい）があり、これを覚えねばなりません。

例えば発音（抑揚）が四つもあります。そんなのいい加減にして欲しい。

第一声	ア→
第二声	アハ
第三声	アノ
第四声	ア、



という具合です。

イ、表音記号も覚える。ハイ

「ありがとう」を意味する「謝謝」という単語で、「シェイシェイ」と間違つて覚えていた日本人は多いです。あ、私もだと思つた

方々、心配しないでください。日本人のほとんどが同じです。正確には、表音文字で見れば分かるのですが、「XieXie」なので、「シェイエ」です！日本人は「イ」と「エ」を逆に覚えていたので、今後はあいいうお順に「イ」が先だと覚えましょう。この表音記号に四声を加えて、「謝謝」となり

ます。あーしんど
ウ、更に簡略字を覚えろと、（当時は簡略字、今は簡字体と言っ）
例えば、豊（繁体字）の、中国の簡字体は「丰」ですが、日本の新字体は「豊」です。
上記の豊（繁体字）ならいざ知らず、簡字体「丰」が「豊」なんてどうしますか？

これじや予習の時間ほとんどを、中国語に占領されてしまいます。大変な選択をしてしまいましたが、途中からの語学・選択変更は不可です。

V. 「取取」（当時、汚いゴキブリがうろうろするような繁忙店）で8人位が御馳走になりました。
「焼餃子」は鍋貼餃子（クオオチイチャオス）。中国東北部で食され、満州開拓に行かれた方々が戦後作り方を持帰ってきました。中国大半の地区では「水餃子」です。又、こ

れは「点心」の類でおやつに相当すると。なるほどな！

ビール・啤酒（ビーチウ・口卑しい酒）中華思想なのかな？ 美国（メイクオアメリカ）どうなってるの？

高粱酒（コウリヤンチュウ）これはくさい。コウリヤンは臭い。

白乾（バイカル）今はアルコール38度以下になったが、当時は50度以上で、そのまま飲む。これ（60度）はとても飲めない。

先生、老酒（ラオチュウ）はいいですか？（こんなお酒飲めないもの）

謂く、米を原料とする醸造酒。これを長期熟成させると代表的な黄酒（ホアンチュウ）となります。紹興酒は、老酒の一種で長期熟成させた黄酒です。老酒は日本で言う「純酒」と理解して下さい。なるほどな！

更に謂く、老酒は値段が高いので、このお店には置いてありません。愕然。

VI. さあ一試験だ！
中国語・選択変更不可”ではなく、試験成績が皆皆不可の山。

専門学部進級にあたり、49名中17名が中国語の御蔭で進級できなかった。あーでも、一年半大変な予習時間にかけて学ばざるを得

なかった。多少年をとった68歳でも覚えている（三つ子の魂かな）。未だ。ボケ。てはい

ないようだ。中国語・選択変更不可で各学部混交の良い学生生活もおくれた。共に有難い感謝、思い違つて、

「中国通（ツンコウホア）・一海（イーハイ）先生（シェンシヤン）・謝謝您（ニン）」拝

※中国語の発音には、濁音がありません。半濁音。です。

故郷再訪、仁和寺・嵯峨野・

大文字山へ紅葉狩り

山城18回 中尾 四郎

山登りをともに楽しむ仲間から「一度、京都へ紅葉狩りに行きたい」との意向があり、JR東海の広告コピー「そうだ、京都、行こう。」に便乗、十一月下旬に出かけることになった。案内役は京都所払いの私が担当。脚力に自身のメンバーだけに山登りを少し織り込んだ（京都熟年の旅）。

男4人女3人のパーティーでJR花園駅に現地集合、まずはわが母校に近い妙心寺を訪問、鎌倉五山でも見られない立派な塔頭群に

一同感心しきり。私が中三時に通った学習塾があつた寺院も、掃き清められ荘厳な趣き。塾のお陰か、山城高校に入学できたことに改めて感謝。

次いで「わたしやお多福 お室の桜 ハナは低くても 人は好く」と、京の戯れ歌に出てくる御室仁和寺へ。小学生時代チャンバラ遊びの場所だったが、今では立派な世界遺産。写真は境内の五重塔で撮った山城高校卒業アルバムのスナップ（写真右）とそれから52年



後の現在の筆者（写真左）。御室八十八ヶ所参拝も旅の大きな目的だったが、生憎の雨。一番と結願の八十八番札所のみを手抜き参拝し、嵯峨野へと向かう。

嵐電を降りて驚いたのが入浴の多さ。雨模様にもかかわらず、紅葉がピークの日曜とあつては致し方なし。和服の観光客も少なからず見受けるのも京都ならではの光景。天龍寺、野々宮神社、二尊院、落柿倉、常寂光寺、祇王寺を訪れ、今が盛りな紅葉をめぐる。この界限は何度も来ているが門前を通過するだけで、拝観料を払い山内まで足を踏み入れたのは、ほとんどが初めて。

清凉寺（嵯峨釈迦堂）の境内を通過し、民宿「嵯峨一休」にお世話になる。川端康成が晶屑したという「嵯峨森」譚製の湯豆腐の夕食に舌鼓。一息ついた後、民宿女将お奨めの大覚寺の夜間ライトアップに出かける。デュークエイセスのヒット曲「女ひとり」の歌詞、「京都嵐山大覚寺 恋に疲れた女が一人」の雰囲気にはほど近い「人生にくたびれたジジババ七人の旅」ながら、雨上がりの幽玄の世界に酔い、宸殿や五大堂の大伽藍、容される大沢の池、宸殿や五大堂の大伽藍、それらを結ぶ回廊「村雨の廊下」と、さすが、旧嵯峨御所。また地元元祖の嵯峨菊も鑑賞でき、

女性陣は大喜び。大覚寺は嵐山周辺ほど混雑しない「お勧めスポット」という、民宿女将の説明に納得。

二日目は雨も上がり予定通り東山トレイルの一部、大文字山に登頂。こも学生時代に酷似して夜間登山しただけで、コースなどは記憶にない。まずは南禅寺を参拝し、水路閣、哲学の道を左に分け塔頭裏手から入山。通常ルートから外れるが、ほどなく京都一周トレイルに乗り、二時間足らずで大文字山山頂到達。途中、野生の鹿に遭遇したのは意外だった。平日ながら山頂ですき焼きパーティをする中高年ハイカーも見かける。市街地展望を楽しむ登頂記念写真を撮り、火床を経由して銀閣寺に正午過ぎに下山。

午後はネットで見つけた「みます屋おくどはん」で京のおばんざいランチ。京町屋を改装した店舗で、かまど（おくどはん）の傍には「火道要領」のお札が。昼の一時を過ぎても客足が絶えない超人気店で、八割方が女性客。山登りのリュック姿は我々だけ。すぐ近くの新幹線で帰京。短期目ながら、京都のいいところ取りを満喫する故郷再訪だった。

来年は京都と小浜市を結ぶ「鯖街道を歩こう」で一致したが、はてさて「枯野を駆け巡

る」夢はいつまで続けられるやら……。

「谷根千」散策と上野でランチ

山城18回 中尾 四郎

「関東山城組18」（首都圏在住の18回卒業生で構成）の秋の園遊会は、今年は趣向を変えて「谷（中）根（津）千（駄木）」散策と上野でランチのヘルシーコースを設定、21人（男11・女10）が参加した。

上野の森も秋の装いを深める10月22日、JR日暮里駅の散策組6人が集合。初参加の佐古田正昭君とは事実上の初対面ながら、母校の絆のおかげか、無事に合流成功。昭和ノスタルジの雰囲気を感じた谷中銀座商店街ののんびり歩く。人気スポーツの「タヤけどんだん」は陽が高いせいなのか、うっかり過ごしてしまっただけ。つづきの名所、根津神社には、七五三の親子連れも。手水所で身を清め、「再会の仲間と健康に感謝」を礼拝し、上野のランチ会場に向かう。

会場の中料理店「家宴」がある東上野界隈は、かつて修学旅行生や集団就職の若者が利用したと思われるレトロな旅館街で、井沢

八郎の「あゝ上野駅」のメロディーが聞こえてきそうな雰囲気。「関東山城組」終身会長の宇多川隆君の乾杯の発声で宴は始まる。久しぶりに再会した仲間は一気に50年前の「山城高校生」にタイムスリップ。来年に「古希」を迎える年齢も吹き飛びそうなパワー。前田幸一君手配の、江戸情緒溢れる「豆絞」のお土産も好評で、「来年も元気で再会を」の声も聞かれ、盛況裏に散会した。当日は想定以上の参加者で、会場がやや手狭だったこと



を深くお詫び申し上げます。

なお参加者は、次のみなさんです。（敬称略、順不同）宇多川隆・板橋一成・井元俊一・木越英雄・佐古田正昭・高橋博道・寺島竹夫・林善夫・吉田祐造・細木あや子・片野通子・加峯悦子・佐々田芳枝・橋本春子・平岩恵子・平田敦子・松本文子・矢内圭子・真枝康子・前田幸一・中尾四郎。

楽しい定年後

山城18回 松本 利夫

私は四年前の平成二十四年十月に六十五歳でサラリーマンを定年退職するまでは、美術館・博物館回り、落語鑑賞程度の趣味しか無く、退職後は時間を持て余す事になりました。それで退職五カ月後には、週に三日半、清掃業務が主体のマンション管理人を始めました。パート契約で月、木、金は八時半から十七時まで、水曜日は八時半から十二時までの勤務です。通勤と清掃の仕事で一日に一万五千歩程度は歩きますので、スポーツジム等に行かなくても、仕事で体力維持に大いに役立っています。

更に、居住地である茨木市の生涯学習センターが主催している教養講座の中から「はじめてのシヤンソン」と言う講座を受講しました。月二回程度の練習でワンクルが半年間続いた。最終回はシヤンソンの発表会となりました。最終回は十七名が一人毎、生涯学習センターのホールでお客様の前で歌いました。私は元々、カラオケが大好きでスナックで酒を飲んでいるのでよく歌っていましたので、得意のマイウェイ（マイウェイは元はシヤンソンです）を歌いました。（写真左）



で、茨城市内の混声合唱団の練習を見学に行きました。後で知ったのですが、合唱団では見学者を逃がさないように、定期演奏会の練習中の曲の楽譜を全て用意して、見学者には自己紹介もさせて、既に合唱団の一員のように扱います。私は成り行きで即入団すること

になり、二か月半後の定期演奏会に出演するための特訓をしてもらいました。団員の皆さんが二年掛けて練習して来られた、演奏時間が一時間半の曲目を短期間でマスターするのは大変でした。正直、ラインベルガーの「レクイエム」は、私には初めてのラテン語の曲でして、定期演奏会では四分の三程度しか歌えませんでした。

私の合唱経験は、山城高校でコーラス部に所属していた二年間のみで、高校卒業後定年退職までの四十八年間は、楽譜を見たこともありませんでした。入団当初は、まともな楽譜が読めませんでしたのでテノールのパート練習を録音して耳で覚えるのが精一杯でした。定期演奏会を無事に終えた時の達成感を今も忘れられません。そして、その合唱が私の一生の趣味になりました。シャンソン講座に入っただけならば、合唱との縁は無かったと思います。人とのご縁は大切ですね。(芳真下)

茨木市内の謡声合唱団に入団して三年余りが経ちました。現在の団員数は四十二名です。今年（平成二十八年）は次回の定期演奏会（平成三十年春頃）の曲目を毎週金曜日の十九時から二十一時まで練習しています。曲目はフォーレの「レクイエム」、高田三郎の「心の四季」等です。この合唱団では毎

[illegible]

平成二十七年には、茨木市合唱連盟の募集した合唱団（百八十名）でショスタコーヴィチのオラトリオ「森の歌」を、週に一回、九か月間練習して、アンコール曲を含めて贈演（葉譜を見ない）で歌いました。オーケストラはプロの大阪交響楽団で会場は閉館間際の茨木市民会館でした。（写真次頁）

同じくシヨスタコヴィチのオラトリオ「森の歌」を、今年は高槻市民合唱団に加わつ

年、大阪府合唱祭、全国シ
ルバー合唱コン
ンクール、茨
木市民音楽会
等にも出演し
ています。私
は平成二十八
年の三月まで
はテノールの
パートマネー
ジャーを、現
在はリエク
レーション担
当役員として
合唱団の運営



勢の合唱団員で大勢の観客の前でオーケストラと歌うのは凄く感動します。

更に、茨木市の合唱の仲間と誘われて、今年に別の神戸の合唱団（二百六十名）でベートーベンの「第九」コンサートに初めてチャレンジしました。私にとっては初めてのドイツ語の歌詞で、七月から合唱団で毎週一時間の練習と自宅で予習、復習をして、十二月に入ってから仕事のない日は美術館回りを我慢して、自宅でたっぷり練習をして、平成

で平成二十八年十一月二十日に高槻現代劇場大ホールで、やはり大阪交響楽団と共に、

今度は二百九十名の団員で歌いま

二十八十二月二十四日に兵庫県立芸術文化センターの大ホールで、千八百名の観客の前で「第九」と「クリスマスソングメドレー」を、暗譜で歌いました。暗譜は、歌詞やメロディ、息継ぎの箇所、音の強弱等を憶えないといけないので頭の体操になり、認知症防止にも大いに効果があると思います。特にドイツ語の歌詞を憶えるのは大変でした。でも、コンサートで歌い終わった時の感動と達成感は格別です。「第九」は平成二十九年も、またやる積りです。

更に、合唱の仲間と誘われて大阪市内で半年に一回、ピアノの伴奏で、ソロで歌う会に入り、平成二十八年十月二十五日のコンサートで八十名の観客の前で一曲歌わせて頂きました。自分のキーに合った楽譜の入手やピアノ伴奏者との音合わせ等結構大変ですが楽しいです。今回は平成二十九年六月十五日の予定です。

次に、美術館・博物館回ります。私が本格的に美術館・博物館回りを始めたのは十一年ぐらい前の五十代後半頃です。仕事で東京に出張して、たまたま、東京国立博物館でレオナルド・ダヴィンチの「受胎告知」を観て感動したのがきっかけです。二時間ぐらい並んで、漸く観られた貴重な体験でした。その後、

六十歳で東京に単身赴任しました。折角、東京に居るので、休日は主に美術館・博物館回りで過ごしました。関東は美術館・博物館の数が多く、特別展の企画も多数あり内容も充実していました。月に十カ所ぐらい行っていました。ジャンルは問いません。観ないのは、現代アート（前衛的な作品）のみです。特に好きなのは江戸時代の日本画です。伊藤若冲、長谷川等伯、曾我蕭白、琳派、狩野派、北斎、広重等の浮世絵等です。洋画ではルノワール等の印象派の作品が好きです。今でも月に八〜十カ所ぐらい回ります。企画展のチラシとチケット、作品の目録をファイリングしていますが、一冊に八十カ所分ファイル出来るファイルが、今で十五冊目です。十一年間の延べで約千二百カ所を回った事になります。今年の十二月は「第九」の練習を優先して、あべのハルカス美術館の棟方志功展、京都の細見美術館の明治の工芸品展、阪神百貨店の司馬遼太郎展が行っています。

それから、落語会は二カ月に一回程度行っています。山城の同窓会がきっかけで、同級生だったY君とはNHK上方落語を聞く会の抽選が当たると、半年に一回程度、一緒にNHKホールに行きます。動物園前の動楽亭も平日の十四時からが穴場です。上方の古典落

語なら枕を聞いただけで、七瀬くらいは話の
中身が分かってしまっています。

このように、週に三日半の仕事、合唱、シャ
ンソン、ソロで歌う会、美術館、博物館回り、
落語会や音楽の演奏会鑑賞等、私は超多忙で、
毎日があつたという間に過ぎてゆきます。合唱
に限らず、自分が熱中出来ることを見つけて
お仲間を作る充実した生活が出来ると思いま
す。前述の平成二十七年十月に茨城市民合
唱団で歌った「森の歌に参加しての感想文」
を茨城市合唱連盟の連盟ニュースに投稿しま
した。合唱を素晴らしいと感じた瞬間をお伝え
したいので、投稿文をご紹介します。



私は高校のコーラス部以来四十八年振りに
合唱を再開して一年余りで森の歌の練習に参
加しました。オーケストラと歌うのも初体験
で緊張しましたが本番演奏の終盤には涙が込
み上げてくるほど感動させて頂きました。K
先生、M先生はじめご指導頂いた先生方、ス
タッフの皆様、本当にありがとうございました。
練習で得られたことは発声方法、子音の
表現、暗譜の大切さ等多々ありました。他の
団の方々と交流できた事も収穫でした。本番
前のオケ合わせでは最初は出だしのタイミン
グが合わず苦労しましたが、T先生の分かり

易い指揮で徐々に良くなり、本番での演奏が
今迄で一番良かったと感じました。打上げの
最後の大地讃頌の大合唱も忘れられません。
本番前の一階での整列の時にM先生の「一月
からの練習をクリアして、ここまで来られて
歌える幸せを感じて頑張りましょう」との言
葉に心から幸せを感じました。



最後に本誌についての素晴らしいお話をこ
紹介します。平成二十七年二月に発行され
た「双ヶ丘」第九号で私が紹介しました「四
国八十八カ所歩き遍路」を見られた山城高校
の同窓生の方から電話を頂き、近い内に出発
を予定している四国八十八カ所歩き遍路の参
考にしたいので詳細を聞きたいとのことでした。
早速お会いして、本誌では十四日分しか
掲載していなかった「遍路日記」の四十八日
間の全文と行程表等の詳細をお知らせしまし
た。私の投稿を丹念に読んで頂いており感激
しました。

シャンソン講座の受講をきっかけに定年退
職後の四年間で随分と人の輪が広がって来ま
した。シャンソン講座、合唱の仲間、ソロで
歌う会、マンション管理人仲間、それに山城
高校の同窓生の皆さん等、これからも人との
縁を大切に、残りの人生を充実したも

のにしたいと思っています。

メコン川を遡る

山城19回 中村美知子

12月の明けきらぬメコン河畔の道をホテル
からスウィーツを引いて「カラオビア」に
向かった。前夜ラオスの旧都ルアンパバーン
に到着。空港からタクシーで予約をしていた
乗船場に近しいホテルに向かう。ホテル到着時
に明日乗船予定のカラオビアはどちらの方
角かと尋ねた。フロントの青年が「ここか
ら車で10分ほど離れた処だ」と言う。「エエ
」確か地図を見て乗船場に一番近いホテル
を選んだのに・・・翌早朝出発であるので彼
が言うビア（筏橋）の近くのホテルに移動し
たかったがもう夜も遅かったので宿泊先を変
えることは難しいと判断しチェックインする
ことにした。荷物を部屋に置いてATMで現
金を得るのに暗い道を通って町へ出た。途中
もしやと思い、出会った人に「カラオビアは
何処？」と尋ねたら指さして「あそこ」と言
う。「エエ」さつきフロントのいちゃん
は違うこと言ったのに、とビツクリしてもう



ライド式に折りたためるようになつた平底船だ。若い男性が話しかけてきた。私がガイドです。今日の乗船客はあなた方だけですか」と言つた。また「エエ」と同行するのは

一人向うから歩いて来る人に聞いたらやつぱり「あそこ」と言う。冷静に考えたら元々地図を見てホテルを決めたのだから自分を信じるべきだつたと後悔し、ホテルに戻つてその彼の顔を見ても、怒る気もしなかつた。船着き場といつても何もない岸辺の一角所で隔日の早朝に出航、別の船が隔日の夕方に接岸するだけで地元の人知らないのも無理はないところだ。川辺の道から急な階段がありポーターが立っていてスツケースを降ろすのを手伝つてくれた。ピアとしての設備は特にな

す。船はもう接岸していた。人が動いている。40人用の船客のシートが設置された屋根がスライド式に折りたためるようになつた平底船だ。若い男性が話しかけてきた。私がガイドです。今日の乗船客はあなた方だけですか」と言つた。また「エエ」と同行するのは

パイロット二人、メカニック、コック、船内世話係とガイド。スツップの数の方が多いじゃないか。7時、メコン川の上流に向かつて2日間の船旅の始まり。はしり出



ソファアールがあり寝転びながら後方の風景を眺められる。途中二ヶ所所川辺の村や祠を訪れるため上陸する。南岸はほとんどジャングルで変わらない風景が続く。時々人が釣りをしたり、歩いていたり牛が草を食んでいる。犬もいる。子供たちが手を振ってくれる。5時過ぎ、真っ赤に沈む夕日を眺めながら宿泊のために上陸。メコン川は1年内で水量が所によつては5mくらい上下があり接岸しでも季節により乗降する場所が異なる。渾水期の冬は船を下りて不安定な道を宿泊先まで歩くのでスツケースを船に置いてリュックを担いでホテルにチェックイン。夏はホテル真下で



み放題。後方にキツチンがありコーヒーやお茶などいつでも飲める。船首にはベンチがあり風は強いが正面から川の様子が見え、まるで自分が操縦しているよう。船尾には



の時期の過酷な気象状況は日常であるらしい。水高を増した水面に冬の太陽は10時を過ぎないと輝かない。今日は雲から出たがらない太陽を頭上に船は進む。メコンは場所

下船するようだ。ホテルのレストランでも私たちが二人だけで夕食。他に泊り客はいない。ロッジに分かれたテレビもエアコンもない緑の樹木に覆われた部屋の窓からその日一日を過ごした船が通か岸辺に見下ろせる。ガイド以外のスタッフは船上で寝泊まりしているように灯火の下、人影が動いている。猿が部屋に入ろうとするからと忠告されている。ヤモリが這っている。やがて屋根を叩くような雨が夜半から続き、雨音が目覚める。翌朝の出発は無理だろうと思われた。小降りになった朝食時、ガイドが予定通りの出航と告げてきたので準備をして出発。彼らにとってはこ

の時期の過酷な気象状況は日常であるらしい。水高を増した水面に冬の太陽は10時を過ぎないと輝かない。今日は雲から出たがらない太陽を頭上に船は進む。メコンは場所



よって川幅が変わる。岩場もある。時々パイロットが竿を差しながら進むこともある。夜は危険で航行しない。この日も正午近く岸辺の一村を訪れた。男たちはほとんど出稼ぎに出ていて女たちは機織り、子供も製品を売る。船に戻りお決まりのシートで遅めの昼食。私たちが食べ終わらないとスタッフの昼食が出ないそうだ。慣れてきたガイドやスタッフと話す。スピードボートが追い越して行く、或いは前方から波を蹴立てて目前を通過して行く。あの船はタクシーボートで小さい船内にライフジャケットを着け川面に這いつくばるように波を被りながら、私たちが2日かけて航行するところを6時間で行くそうだし、水上生活をしている集団の船や、市場に行く物売りの船や釣り船。川面は結構賑わっている。兩岸の風景はあまり変わらなが見飽き

ることはない。やがて川幅が広くなりその辺りから西岸はタイとなり旅の目的地、フエイサイという国境の町に着岸。明日は陸路国境を越えてタイに入国する予定。再び沈む夕日を眺めながら「私たちの船」を離れた。

愛しのダンハ

山城19回 船越 周

雨の緑側、夕方6時過ぎ、やっと私の車と認めて緑側から飛び降りる。しつぽをちぎれんばかりに振って迎えてくれる。鎖をはずす間も待ち切れずに体が躍り、よけいはずれない。私の顔を一瞬凝視し、次の瞬間体を返して裏庭を降りていく。30分も経つと勝手口に姿を見せる。何かあげよう、ほうら、朝の残りのハムだよ。弁当の残りの卵焼き。さあダン、ご飯の用意するから待って、お父さんもうじき帰ってくるよ、また遊んでくれるしね。緑側につないで間もなく、またひとしきり体を振り回し、後ろ足立ちして主人を認める。前足で歓迎を受けると私はよろける。食事を伴う間中、主人と庭で遊んで一番いいひとときだ。テニスボールを投げてもらって

はそれをめがけて一目散に取りに行く。得意げにボールをくわえて戻ってくる。こつちおいで。ボールを取り上げるとまた走り出す。5、6回繰り返すと、さすがのダンも息が上がつてきた。東の草むらで休息する。私も料理の台間に外に出る。ダンとは興奮して草むらを駆け巡る。火はそみを打ち鳴らし、追いかける。ますますスピードをあげるダン。走りながら遂にはしつぽを追いかけて回しやつと口にくわえると逆回りであちこつこのしつぽを追いかけて回す。何度も繰り返してはついにダン、ダウン。草原に腰を下ろす。主人は草木を見て回る。ダンはどうして？アスファルトの上で寝そべっている。さあもうすぐご飯だ。勝手口でお腹がすいたとダンが呼ぶ。

東の洗濯干し場でダンが呼ぶ。私はやつと食事を終え一服しているところ。お腹が膨れ、一眠りでもしたのだろう。しかたなく洗濯物にかかると言い聞かせて裏に出る。鎖を解くとまた一目散に駆け降りて夜の散歩に出ていく。30分も経ったかな。ダーン、ダーンと呼ぶとどこから帰って来て姿を見せる。時には北の庭から、時には玄関の庭から・・・そしてしきりに遊ぼうという。私が古いタオルを出してくると、もう前足と頸を地面に付

け、お尻を上げ尻尾を振って身構えている。タオルの引つ張りつこをするのである。私が本気を出したら負けないが、かなりの力で引いてくる。その度にタオルはビリビリと音をたてて裂かれていく。切り裂いて破った切れ端を勝ち誇ったようにクチャクチャ噛んでから口から放す。今日もまたタオルが一本ダメになった。もつと遊ぼうと言いたげにしかたなく繋がる。さあダン、もう今日はおしまい。また明日。朝早くから起こすんじゃないよ。わかったね！うらの道具小屋がダンの住処。小さくなった犬小屋でもそこがいいみたい。夏の昼真つ盛りには、その横で地面を掘り、冷たい土の上で寝そべっている。主人は道具小屋が傾くと文句を言っている。朝早くダンが呼ぶ。もう起きてるな、早いなあ。身支度して道具小屋に行くと、大歓迎して2本足立ち、鎖を解く間ももどかし、また裏を降りていく朝のいきつこうんちだ。20、30分で勝手口に姿を見せ、そのまま通り過ぎて行く。私は慌てて勝手口を開けダーンと呼ぶと、もうアスファルトの上に出て広い通りに出ようとしている。何かあらえろと思つて引き返してくる。何かあげよう！でももう行っちゃだめ。父さんが起きて来るまで待ちなさい。主人がご飯を食べる間中、南の緑台

に座り、箸と口元を見つめ、ガラス戸を前足でガリガリいわせ食べ物をねだっている。ダンおとなしく待つていてね、帰って来るまで。留守番しててね！昼寝して待つてるんだよ。

目の前の畑に来るおばあさん曰く、私が呼んでも知らん顔、よう知ってんねんやな……：ダン 享年2歳2か月と24日 輪禍にたおれる。

おやじバンドやつてます

山城20回 谷口 陽助

1995年秋、一つの電話が掛かってきました。「こちらシルバードキックサウンドズです」。一瞬、何のことか分かりませんでした。その後、電話の向こうから「Kです」との声が流れてきました。そうです、高校時代、バンドを組んでいた同級生でした。

山城高校の軽音楽同好会（このころはまだ同好会の扱いで、クラブではありませんでした）の同窓会開催の知らせでした。「もちろん参加する」と即答し、12月の同窓会に出席しました。会場に入ると、懐かしい顔や、こ

の人誰だったかなとか、色々な顔がそろっていました。たしか、4年ぐらい先輩から1年後輩までの年代だったと思います。

話は高校時代にさかのぼりますが、私は、多少洋楽とかギターに興味があったので、何となく軽音に入りました。当時の同好会には、フォーク部門とロック（エレキ）部門があったように記憶しています。そのころ、フォークといえばノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランやPPMなど、ロックはベンチャーズ、ビートルズ、ローリング・ストーンズなどが一世を風靡していました。私はロック部門に同級生6人ぐらいと入り、先輩たちから



ギター、ベース、ドラムス等、一から教わり練習に励みました。そして同級生でバンドを組むことになりました。バンド名は歴代シルバードラッグサウンスで

した。そんな中、「またバンドをやりたい」という声が上がリ、エレキをやっていた連中はその場のノリでやろうということになり、ここにシルバードラッグサウンスが再結成されることとなりました。後日、メンバーが集まり、楽器の準備から始めました。全てのメンバーのカタログを取り寄せ、皆で何日もかけ検討し、各自思い思いの楽器を手に入れました。それこそ高校生の頃には高価で手が出なかつたフェンダーなどのギブソンでした。バンド練習は、96年春から始めました。場



昼休みに中庭などで演奏をしておりました。

話を同窓会に戻しますが、皆何十年ぶりかの再会で、高校時代の懐かしい話、近況報告等で盛り上がっていました。

所は、ドラム担当のA君の家に高校時代からのドラムセットが使用可能な状態で保管され、なおかつスペースもあったので、彼の家にアンプなど機材を持ち込み、練習を始めました。最初は皆、音を出さただけで満足でした。そのうちに息も合うようになり、それなりの演奏が出来るようになりました。

そこで発表会ですが、まずは身内からという訳でもありませんが私の学年の同窓会で演奏しました。その後も1学年上、2学年上の同窓会での発表が続きました。そして、わずかですが出演依頼が来るようになり、練習も月1回のペースで行っていました。しかし、仕事の都合や体調の不良等々でメンバーが少しずつ減って、再結成から20年になります。基本4人（メンバー



ーが脱退した訳ではありません」で活動しており、月一回のスタジオを借りての練習と、年一回ライブハウスを借り、ライブを開催しています。その他、イベント等でも演奏しております。上は69歳、下は66歳、平均年齢68歳のおやじバンド、頑張っております。楽器は一流、腕は三流です。機会があればライブに足を運んでくださいな。

ハガキによるお便り

山城15回 釜本 邦茂

4月15日で72歳になります。まだまだ全国をまわって少年達へスクールをしています。これも山城精神のおかげと感謝しています。

山城66回 中西 拓人

この度は会誌をいただきありがとうございます。私は立命館大学へ入学し、小学校の教員を目指しています。子どもに関わるアルバイトやボランティアを通じて教員への思いを深めています。山城高校、立命館大学での学びを活かし、将来への歩みを進めていきたいと思います。

各期・各会の報告

ニロク同窓会（19回卒）

2016年4月16日
今年も桜の時期に旧友が集った。場所も昨年と同じ南座の前の「菊水」。



四条通りも川端通りも花見客で溢れている。特に今年は外国人観光客の着物が目立った。この日は暖かく半袖のTシャツの歩行者もいた。6時間会だが時間のある人は1時間早めに来てもらっておしゃべりを始めようと案内したので5時過ぎから徐々に参加者が現れた。今年は3名の新しい級友を迎え、しかしながら5名の常連の諸事情に因る欠席者があり男子13名女子5名の18名で宴は始まった。処々で会話ははずむ中、自己紹介が始まり、先ずは新人から。時間を埋める旧友の話を皆真剣に聞いていた。常連の話になると聞く人、他の話を始める人もう無茶苦茶。また来年会いましょうと散り始めた桜の中で別れた。MN報告

山城高28回同窓会

2004年の夏に、卒業後初の学年全体の同窓会が開かれました。たまたまオリンピック開催年であったため、以降、4年ごとに開催しようということになり、16年9月には、4回目の「大同窓会」を、京都センチュリーホテルにて開催し、80余人の参加を得ました。2回目以降は減るかと思いましたが、ほぼ80〜100の間で定着しています。

来年(18年)には、早生まれも含め同期の全員が過半数を過ぎることになります。少し時間(たぶんお金にも)ゆとりがでけると思われるので、開催頻度を増やすなど、もつともつと交流を深めたいと思っています。

水泳部OBOG会

山城60回卒業生 江村 祐太

11月12日に(現在水泳部顧問である阪本先生の御自宅で)水泳部卒業生の有志により、顧問の先生と20名参加のもと開かれました。懐かしい昔話に花が咲き、今も現役の部員が飛躍し、伝統を引き継いで活動している話で盛り上がりました。比較的に若い年代の集まりとなったのは、今までの水泳部としてはなく、ウオーターボーイズを共に経験し、集まった者たちだからです。最近では卒業生の活動と、ネットでの反響もあり、よく声を聞くようになりました。2005年より毎年行われている「一般公演」で、今年は800人の観客を動員したとも報告を聞きました。そんな昨今とは違い、2003年より始まったこの活動は、私も当初は中学生で観客の立場でした。当時はウオーターボーイズの活動する人数も、観客も少なかったため、疑心を抱



いたまま入学したのを今でも覚えていました。それが一躍有名になったのは2005年に開催の「全国ウオーターボーイズ選手権」出場がきっかけです。私自身も出場し、大会のテレビ放映をきっかけに山城高校の名前がどんどん広がっていく様子を実感していました。その後、その他のメディアにも山城高校水泳部の名前が出るようになりました。先のような活動経緯があり、部員の人数も増えてい

き、現在のように校内以外でも活動が出来るようになりました。校外の活動を新聞にも取り上げて頂き、益々知名度が出てきたように感じています。2007年から始まり、現在にまで至る、太陽が丘でのウオーターボーイズ公演は今でも続いている校外活動です。今回のOBOG会では、初期の活動を知らない世代もいながら楽しく開けたのは、ウオーターボーイズの伝統を守りながらも、各世代が個性を尊重しあえる仲が続いているからだと思えます。この度参加し、最近卒業した者と話をしていた驚いたのは、私が在籍していた時より、周りを取り巻く環境の違いでした。協力的に行動して頂ける人が増えていることや、許容して見守って下さる方々がいることです。私からすると、このような体勢になることは当初思いもせず、驚いており大変嬉しく思います。そして話をしている内に、我々の初期の活動を重んじる声があることに鼻高く思っています。卒業してもこのような会で集まり、気難しさがなく喋れることや、共に活動をしていなくても交流がある幸せを、参加したみんなで分かち合えます。

ボストンの「京の町家」と私

山城14回 石山 清子

ボストン・チルドレンズミュージアム（ボストン子供博物館）の中にある「京の町家」は一九七五年、姉妹都市二〇〇年を祝して京都市からボストンへ寄贈された西陣の商家です。この商家の持ち主が私の実家の父のものであったという縁で、二〇一四年一〇月に私は夫、兄（山城十二回卒）、友人達と共に「京の町家」を訪ねる機会もつことができました。この町家は明治初期に建てられたもので、今では少なくなった格子戸の玄関に十間から奥の坪庭まで通り抜けた二階建ての家であり、この家一軒丸ごとが博物館の中に移築されています。

私たちが訪れた時には、私の記憶に残る雰囲気よりほかに落ち着いた佇まいで、畳、ふすま、障子等が、よく手入れされ真新しく感じられ日本の香りがそのまま伝わってきました。

聞くところによると最近日本の職人さん達やボストン在住の方々がボランティアで家屋を修復し、守って下さっているとのこ

とであり、ありがたく思いました。

このような「京の町家」に、ボストンの市民とりわけ子供たちが多く訪れ、こたつに入ったり寝そべったりして直接日本の生活様式や文化に触れて楽しんでいます。そしてこの家に住んでいた人達がどのような生活をし、歴史を刻んできたかという生きた人達の物語を聞くことも大きな楽しみの一つだと教えられて私は大変うれしく思いました。

というのは、学芸員の方とこの町家の事を知る私との間でやりとりした手紙が元で、建築物としての町家だけでなく、そこに住んで



いた家族の人間模様や空気感、日常生活の様子などを直接伝えることができていたから、大いに役立ったのではないかと思っています。そして、これらの手紙が「京の町家」の紹介サイトの一つとして今も掲載されていることは大きな喜びです。

今回訪問した大きな目的はボストン市民との交流でした。「ウエルカム キョコ」と書かれた大きな幔幕に迎えられて、私達が子供のころに遊んだおじやみや竹とんぼ、折り紙、貝合わせなどのプログラムで来館の人たちと共に遊び、交流を深めました。

私達書道家三人も大きな紙にそれぞれ墨を走らせ、書のパフォーマンスを行いました。

「ボストンの人々はこの京の町家を宝物のように大切にしているのですよ」と学芸員の茶山様から大変印象深い言葉をお聞きして、さぞやにき両親も喜んでくれているだろうと感激を新たにしました。

そして今もこの町家がボストン市民に愛され、日本の文化や伝統の発信の場として活躍していることが実感できてうれしく思いました。

ボストン子供博物館のホームページ

<http://japanesehouse.bostonchildrensmuseum.org/>

<http://japanesehouse.bostonchildrensmuseum.org/>

おっちゃんから

私の自転車所感

山城14回 野口 嘉弘

私が自転車を始めたいきっかけについてお話しします。在職中は専ら山登りをしていたが、定年直後、自転車の師匠（パソコンの師匠でもある）おっちゃんと呼んでいる先輩に誘われて、初めて走りました。そのコースが、自宅→嵯峨島居本→六丁峠→保津峡→水尾→神明峠→越畑→芦見峠→細野→愛宕道→田尻庵→松尾峠→西明寺→高尾→福王子→自宅で、走行距離七十。余、午前八時出発、午後五時帰宅、移動距離が実に徒歩の三倍以上あるのに驚き、以来自転車の道に、のめり込むことになりました。奇しくも帰宅したときに、JR福知山線脱線事故のニュースが流れて大変驚きました。おっちゃんの、最初はマウンテンバイクから始めるのが良いとのアドバイスを受け、バンク修理、ブレーキ・変速機の調整等々一から教わりました。北山は貴船・鞍馬・魚谷山・狼峠・石仏峠・機敵峠・祖父谷峠・飯盛山・天童山・茶臼峠・緑坂峠・滝又の滝、等々へ行きました。倒木で塞がれ

た道をバイクを担いで突破、麓の大群を発見。猪の昼寝に遭遇。山経に血を吸われたり、色々困難が有っても、又次のコースに行こうというも思いました。天気の良い日には、桂川・木津自転車道で淀橋・流橋・泉大橋・平城宮跡・大阪城・宇治喜撰ダム・天ヶ瀬等々、いずれのコースもハブニングはその都度ありましたが、いずれも楽しいサイクリングでした。四国八十八か所巡りは、初回、①雲仙寺（徳島）②徳光寺（高知）③二回目鶴観自在寺（愛媛）④大窪寺（香川）約千三百。延べ20日間で走破しました。4年前にジャイアントが究極のクロスバイクを発売したとの情報を得て、おっちゃんに勧められて即日購入しました。軽量で輪行には持つて来いのバイクでした。仲間の3人も続けて買いました。最近、北山自転車コースは体力的に少しハードになりあまり無理なことは避けるようにしています。主に青春18切符に依る、各地の風景鑑賞と旨い物を求める楽しい輪行の旅をしています。杜鰲を求め日生・牛窓の旅・琵琶湖一周・丹後半島一周・鹿野、赤穂、吉備路・しまなみ海道（尾道、向島、因島、生田島、大三島、伯方島、大島、今治）とびしま海道・星のプランコの紅葉交野市）かきしま海道・江田島、興、大久野島の旅・竹田城跡、生野銀山・山

陰の旅（皆生、堺港、水木しげるロード、大根島）渥美半島の旅（島根、伊良湖岬、遠州灘、浜名湖、豊川稲荷）小浜船街道・今春に行つた、しまなみ海道の旅では因島のホテルでの板が見事でとても感動しました。今治の民宿で食べた鯛料理は、絶品でした。近くに行つた時は毎回定番の宿にしています。これから、体力の続く限り仲間達との楽しい旅を続けたいと願っています。師匠である「おっちゃん」は一足先に天国へ旅立たれました。

男のロマンを追い求めて

山城14回 松山 均

今、ラグビーに追い風が吹いている。一昨年のワールドカップ（W杯）で、日本は決勝トーナメント進出こそ逃したが、南アフリカ戦を含め3勝を挙げた。そして、2019年のW杯日本大会に向け、さらに雰囲気盛り上がるかと期待している。

高校1年生の時にラグビー部に入部し、2〜3年生の時には、京都大会で常時ベスト4まで勝ち進み、決勝まであと一歩のところまで、洛北高校の坂田好弘氏にトライを奪われ力尽



同大対カンタベリー大 (1964 年)

きてしまった。その後、同志社大学に進学し、2 回生の 1964 年、第 1 回ラグビー日本選手権で、八幡製鉄・近鉄と社会人チームを破り、同大が初代のチャンピオンに輝いた。また、4 回生の 3 月には、同大初のニュージランドへ 2 週間の遠征試合のメンバーにも選ばれた。卒業後、京都市役所に就職しても、ラグビー部に所属しプレーを続けた。その時期が市役所の一番の黄金期で最強のチームであった。山口良治氏はその時のチームメイトである。

30 歳で引退してからも市役所のコーチ、監督等を歴任し、35 歳頃までラグビーに携わっていた。振り返れば、私のラグビーの原点は山城高校のラグビーである。6 年後の 2023 年には京都三中・山城高校ラグビー部創部 100 周年記念式典を迎えようとしている。

さて、この通りラグビー一筋であり、自慢ではないが家庭を顧みることなく、ラグビー馬鹿と言われ、妻などはラグビー未亡人とも言われる程だった。

その私が、変身してカメラで蝶々の写真を撮り始めた第一の動機は、41 歳の 4 月に市立芸術大学の学生課に配置転換になり、学生や教授の絵画や彫刻等を鑑賞する機会が多くなり、次第にそれらに感化されて、何か趣味を持ちたいと思うようになった。それまで趣味と言えばお酒を飲むくらいだったので、そこで、思い付いたのが、小学生時代に夏休みの宿題に夢中になった蝶の採集である。その頃に培った蝶の生態等の知識を生かし、今度は抽虫網で採るのではなく写真で撮ることに挑戦してみることにした。それによって、生命の大切さと蝶を引き立ててくれる花も一緒に撮ることにこだわりの「蝶と四季の花」というテーマで撮るようになった。



ギフチョウ (春の舞姫) →
← ツマベニチョウ

↓ ウスバキチョウ
氷河期の忘れ物



オオムラサキ (巨蝶) →
← クジャクチョウ



そして、蝶を追いかけて京都は勿論、北は北海道の大雪山、南は沖縄の与那国島まで足を延ばし、特に八重山諸島には毎年行き、今回で27回目となった。それは、温暖な気候のため京都に生息していない蝶が多いうことと、青い空とエメラルドグリーンの海、そして、何よりも美味のゴーヤチャンプルとオリオンビール・泡盛があり、これ以上のない至福で、これこそ男のロマンである。

2004年4月に集大成として京の蝶を中心とした写真集「京都の蝶」―府立植物園・京都御苑・鴨川の蝶たち―を自費出版し、市図書館及び市小中学校に寄贈した。この本を見て頂き、身近な蝶を通じて自然環境を守ることの大切さを写真を通して伝えたいと思っている。

PTA会長と山城高校熊本応援募金プロジェクト

平成27年度PTA会長 山城41回 山本圭吾

なぜそういう役回りなんだろう？

「山本さんPTA会長お願いできますか？」前会長からお声がかかる。最近なぜだか声が

かかることが多い。私はやるか、やらなしか迷った時はやることにしている。

そんなことで、今、役職5つ掛け持ち、正直ほとんど会社に行かない。会社に行かない間、仕事をしてくれている社員さんに感謝。

「条件付きならやりますよ」

そこでしつかりと断りきれない自分がいる。「そしてやるからには……」とかいらい事を皆さんの前で発言し後悔する。

でも、やはり役職をいたただけるチャンスがあるならやるべきと思う出来事が、平成27年度のPTAにはあったのです。

PTA会長の依頼をいただいた春のある日自然災害が九州地方を襲いました。M6.7、最大級の地震です。そのあと、さらにM7.3の本震が熊本地方を襲います。京都に住む私達が経験したことのない地震だと思っています。

5年前の東日本大震災の記憶もまだまだ新しい状態で、熊本の方々は想像を絶するようない思いをされたことでしょう。

そんな時、普通に暮らしていれば、影響の無い（実際は、もちろん多々有りなのですが）京都にいる私達にできることは、きちんと今出来る生活を精一杯して消費を廻すことが使命と日々を過ごしていました。

そんなある日、事務長からの連絡で「全国のPTA連合会で義援金を募っています。山城高校のPTAからいくら送りますようか？」

ここからは、良くある問答です。よその学校はいくらぐらい送るのですか？ 東日本大震災の時はいくらしたのですか？ 根拠の無い話をせざるを得ません。

以前から、私は今年のPTAの象徴となるようなタオルを制作したいと思っていたのですが、その動機をみつけれずじまいでした。

「タオルに募金をのせて販売しよう！」

そう気付いた時、私の心はこのプロジェクトを必ず成功させてみせることと皆さんの素晴らしいことが起ることを確信したのです。

「事務長、皆さんの心のこもった義援金を必ずお送りしますので少しお時間をいただきます。」

まずは「協力を得ることができるか？」からスタートです。校長先生、副校長先生や担当先生、PTAの皆さん、生徒会、全校生徒……プリントも作成し事前協力の調査もしました。

しかし、思いはなかなか人には伝わらない。皆さんも、ばくがどんな事を考えて実行しようとしているのかわからないから、良いとか

悪いとか判断ができません。

そんな中、やがて、ぼくの思いをポスターやチラシに変えたり、皆さんに説明したりしてくれる仲間たちが現れてきます。これは、自分の頭の中で強い思いでイメージし、決してあきらめず、伝え続けたからこうして、同じ思いの人たちが現れたのです。そう、この人たちの出会いが、今回の最大の出来事なのです。

そうなる、思いはドンドン伝わります。気がつけば、チラシ、ポスターも出来上がり、山城祭までに、同窓会にてこのプロジェクトの披露をさせていただいたり、同級生たちが、力強い応援をくれたりして、製作した1500枚の300枚は売れていました。残り1200枚。



山城高校オリジナルアルバム
YMSOUL
山城高校
熊本応援募金プロジェクト
売り上げの一部が、熊本・大分への義援金に！
2019年10月10日（木）～10月20日（日）まで、本校で販売します。
※販売場所は、本校（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）と、同窓会（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）です。
※販売時間は、10月10日（木）～10月20日（日）の毎日、午前10時から午後5時までです。
※販売価格は、1枚500円です。
※販売数量は、1500枚です。
※販売場所は、本校（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）と、同窓会（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）です。
※販売時間は、10月10日（木）～10月20日（日）の毎日、午前10時から午後5時までです。
※販売価格は、1枚500円です。
※販売数量は、1500枚です。
山城高校 同窓会 熊本応援募金プロジェクト
〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1

山城祭が始まると、たくさんの生徒たちや先生や保護者の方たちが協力してくれ、なんとうれしいことでしょうか。3日間、800枚、残り400枚。ラストスパートはウオーターボーイズ一般公演。ここでも水泳部のみんなや先生方の協力でドンドン売れ続けました。そしてラスト10枚を仲間たちは、ぼくの手元に届けてくれたのです。

「これ会長が最後売り切ったな」
そして、最後の一枚を売り切ったとき、こつそりと、周りにいた仲間と喜びあうことが出来たのです。

結果、募金は30万円の募金額が集まり全国PTA連合会を通じて九州熊本地方の高校生たちに義援金として届けることができました。そして、たくさんの仲間たちとの、純



山城祭
熊本応援募金プロジェクト
届け 山城祭 届け 熊本へ！
YMSOUL
山城高校
熊本応援募金プロジェクト
売り上げの一部が、熊本・大分への義援金に！
2019年10月10日（木）～10月20日（日）まで、本校で販売します。
※販売場所は、本校（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）と、同窓会（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）です。
※販売時間は、10月10日（木）～10月20日（日）の毎日、午前10時から午後5時までです。
※販売価格は、1枚500円です。
※販売数量は、1500枚です。
山城高校 同窓会 熊本応援募金プロジェクト
〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1

信頼を本年度のスローガン「笑顔と学びを絶やさず全員参加で心をつなぐPTA活動」に近い形で実現でき、本当に幸せな会長職でした。ほかにも話は尽きないのですが、最後に、これから、何かに頼まれたり、役職を頼まれたりするとき運ったら、気持ちよく引き受けてあげてください。そして、まわりに、そのような方がいたら、思いを理解し手伝ってあげてください。そうすればきっと今回のPTA活動のように素晴らしい出来事がおこります。そして、それをぼくたちはこう呼びます。
YAMASHIRO SOUL

この素晴らしい高校生活で得た経験、自負、失敗等をいつまでも忘れず、山城祭で、これからの素晴らしい社会の波をうまく乗り切っていくつもりだと思います。



山城祭
～ PTA企画 ～
YAMASHIRO SOUL
山城高校
熊本応援募金プロジェクト
売り上げの一部が、熊本・大分への義援金に！
2019年10月10日（木）～10月20日（日）まで、本校で販売します。
※販売場所は、本校（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）と、同窓会（〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）です。
※販売時間は、10月10日（木）～10月20日（日）の毎日、午前10時から午後5時までです。
※販売価格は、1枚500円です。
※販売数量は、1500枚です。
山城高校 同窓会 熊本応援募金プロジェクト
〒860-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1

ハガキによるお便り

山城5回 土本満智子

北海道長万部より
一九八一年に胃癌で胃を三分の二切除しました。二〇一四年、残り三分の一に新たな癌がみつかりました。現在、私の体重は37kgです。癌が治らなくても大地の恵み（木の子）に支えられ癌と共に生きる道をさがっているところです。写真（上）は静狩開拓地のしいたけです。左手に青い鉄を持って「なめこ」一粒くを収穫しているのは私です（写真下）。



各期・各会の報告

第19回卒2年7組クラス会

平成28年5月14日（土）午後6時から京都ホテルオークラで盛大に開催されました。今出君のお力で京都ホテルオークラの最も格調の高い部屋でのクラス会となりました。

今回の最大の特記事項は出席者が21名と非常に多かったことです。前回から5年ぶりということもあって、皆さん待っていましたということでしょう。千葉県から3名や徳島県など遠くからの参加者もおられました。女性の鶴の一声で参加することにした男性や散歩中に声を掛けられ出席することにした人など出席を迷っていた人もいました。次に、我がクラスで最も有名人になった元MBS現フリーアナウンサーの野村啓司君が仕事が終わったということで急ぎよ駆けつけてくれました。27年ぶりの出席でした。顔のわかる人とわからない人がいるようでした。

その次には、アメリカに住中にメールアドレスを乗っ取られ、アメリカに居るのにヨーロッパを旅行中に交通事故に遭い入院中



と「うそ」の情報をそのアドレス帳にある人に「手持ちのお金がないので、送金してほしい」とメールを送られ、危うく振り込め詐欺の片棒を担がれそうになったM君の話でした。私にも英文のメールが届きました。が、英文の偽詐欺とすぐにかかりました。このM君が、高校を卒業してすぐの時の規約や名簿を持って来ていました。その名簿には、会長は今出健一とあり、今出君の会長就任に当たっての決意文では2年に1回クラス会を開催すると書かれていました。そこで、遅まきながら今後は2年ごとに開催することになりました。自己紹介では、皆さ

クラブ活動

バドミントン部

顧問：渡邊一郎 太田典子 大道昭裕

最近の6年程の期間において、毎年どの大会においても府下大会への進出を決め、府下大会では、常連校になっています。平成28年度バドミントン新人大会団体戦のブロック予選では、15試合30ゲームを1ゲームも落とすことなく、全勝で1位通過をはたし、私立高校を含む京都の高等学校全体の中で、ポイント数で7番目のチームとなっており、京都の市内の府立高等学校の中では、最も多くのポイントを持ったチームとなっています。

バドミントンは、次の東京オリンピックに向けて、京都府は、強化指定種目としており、全体にレベルが高く、私立高校の壁を破ることが、非常に難しい中、効率的な練習と基礎体力の強化のため、工夫をこらした練習を毎日おこなっています。

合宿について、バス代の値上がり等もあって、岡山合宿ができなくなり、京都の綾部市の総合体育館で合宿をすることになりました。京都市の嘉楽中学と合同で行い、合宿2日目には、北部で最も強い西舞鶴高校チームと北部の強豪選手が集まり、合同で練習試合を行いました。西舞鶴高校とほぼ対等に、試合を展開し、山城高校の選手の成長が確認できました。次年度の総合体育大会に期待を繋いでいます。



(平成28年度卒業生の写真です。本年度の部員数は41名です。)

ん元気に仕事や趣味に活躍しておられるようでした。

2次会は場所を祇園に移し19名の参加で、グラスを傾けながら歌、デュエット、ダンスと夜遅くまで盛り上がりしました。山城高校校歌を斉唱してお聞きとなりました。

山城19回 寺石 剛

てそてふ



てそてふ

てそてふ

てそてふ

てそてふ



双ヶ丘第11号補遺